

■東京支部活動の報告

①代議員会開催のご案内

新年度のスタートに当たり、代議員会を開催いたしますので、皆様の活発なご討議を宜しくお願い申し上げます。会議の運営に当たっては、審議資料を事前配布いたしますので、ご多用中とは存じますが、ご一読の上、メール、FAXまたは郵送にてご意見・議題への賛否をお願いいたします。また、代議員会当日はオンラインにてご出席・討議にご参加賜りたく宜しくお願い申し上げます。

- 事前審議:令和4年4月20日(水)までにメール・FAX・郵送でご返信願います

E-mail: tokyo@kourokai.org

FAX: 03-3369-3469(共用番号のためFAX宛先に柑芦会東京支部宛と記載願います)

郵送: 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-17-14 新宿シティ源ビル5F 和歌山大学柑芦会東京支部 宛

- オンライン会議:令和4年4月23日(日)11:00~12:00

Zoomにてオンライン会議を開催します

ご参加される方は4月20日(水)までに卒業期・氏名・メールアドレスを明記の上、(tokyo@kourokai.org)までメールでご連絡ください。前日までに会議用URLを返信します。

②今後の支部予定

5月14日:財団・柑芦会・理事会総会 場所:大阪

5月〇日:第2回鎌倉歴史探訪歩こう会「鎌倉殿の13人」ゆかりの地

5月13日:春季ゴルフ会 場所:川崎国際生田緑地ゴルフ場

7月 中旬:代議員会報告、支部総会&懇親会案内状発送(業務委託)

9月24日 ごろ 東京 支部総会&懇親会 場所:損保会館

10月 現役学生との交流会(和大ホームカミングデー)

※その他の予定は日程が決まり次第ご連絡致します。

◆和歌山大学 ニュース

①【システム工学研究科 芝池さん】情報処理学会で山下記念研究賞を受賞

和歌山大学大学院システム工学研究科の芝池祐星さん(システム知能クラスタ2022年3月修了、岩崎研究室)が、情報処理学会 山下記念研究賞を受賞しました。

論文タイトル:

「毛のレンダリングのための効率的な重点的サンプリング」

今回、芝池さんが、同学会の「Visual Computing (VC2020)」で2020年度に発表した上記論文が、2021年度の山下記念研究賞に選ばれました。

詳しくはコチラ <https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2022040800035/>

②和歌山発 総合学習連続講座のご案内

総合的な学習の時間や生活科を、どのように進めるのか。子どもや先生が夢中になる探究的な学習は、どのようにして創り出すのか。総合的な学習の時間・生活科の学習講座では具体的な実践を紹介しながら、わかりやすくお話しします。

今後の予定 : 第2回 4月30日(土)「探究テーマはどう決める?」

詳しくはコチラ <https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2022031100083/>

俳句の会「芦火」第 698 号 令和4年 4月号

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがでしょうか？

発行人：山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com

「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL : 096-382-4767

今月の表紙



柑
蘆
同
人
誌

令和四年四月一日発行
四月号

第 6 9 8 号
2 0 2 2 . 4

轉
り

令和4年4月1日
柑芦同人誌
芦
火
第698号

清記を終えて 2 698号

○ 純一さんの散歩道の自然。今月はサザンカと茶の花。説明に詳しい。似ているが山茶花は、冬の季語。椿は春の季語である。余談ではあるが肥後山茶花のほかに朝顔、椿、菊、芍薬、花菖蒲を加えて肥後六花として、細川藩の頃から武士の精神修養に園芸を奨励。門外不出の種苗育成を現在も続けている。六花に共通する特徴は「端正な一重咲き」つまり原種に近いものを育成してきたという歴史でもある。

○ 今月の高得点者は草炎さん。今年2回目の宗匠です。「切り捨て御免」を698号清記よりお願い致します。ご自愛の上よろしくお願いします。

○ コロナは3月21日に蔓延防止の解除がなされるが、これからは肝心。安心はまだである。北京オリンピック、パラリンピックは終了した。日本はオリンピックで金13、銀6、銅9と過去最高の成績をあげた。パラリンピックも金3、銀1、銅2と良い成績であったが、パラリンピックと同時にロシアの侵略戦争で関心がうすれた。オリンピックはもともと戦争を一時休戦するために始まった平和の祭典である。五輪の基本的精神を踏みにじったロシアには世界は武力でない、経済的な攻勢で侵略を断念させてほしい。武力侵略が無謀であると知らしめる新しいやり方を今回示してほしい。少々の返り血は覚悟せねばならない。それが平和を守る代償とすれば。

○ ロシアのウクライナ侵略とその虚偽の報道に多くの国は騙されない。世界の140ヶ国がロシアを非難している。それにしてもウクライナの抵抗には頭が下がる。大統領の一步も退かない姿勢は国民の信頼があるからだと思う。日本に引き比べると何かむなし。

○ 日本は国防のことを本気で考えているのだろうか。平和を唱えるだけで平和になるなら、ウクライナを見ればあり得ないことが分かる。そろそろ微温湯を脱することを考えないと、アジアにもロシアのような国がある。

◎ 本月高得点者

17点 草炎 15点 史浩 13点 恵吾 温州 12点 善寛 勝

11点 安男 10点 穂心 8点 六甲、碧亥 7点 としを

◎ 本月高得点句

9点 水底が動き始めし春の川 安男

6点 曳船の水脈引く川面春浅し 恵吾

6点 薄目して居座る猫や春隣 勝

6点 歯にしみて胃の腑にしみて寒の水 としを

5点 鉄瓶に湯のしゆしゆんと冬座敷 史浩

5点 山宿の湯屋まで素足春の雪 善寛

5点 残雪の天山はるか畑を打つ 草炎

5点 立春や鳩が啄む福の豆 温州

5点 初恋の人は色白沈丁花 史浩

次号宗匠「一切捨て御免」担当 草炎

兼題 轉り・百千鳥 鳥の鳴き声は地鳴きと轉りに分けられる。地鳴きは仲間との合図のためなどの普通の鳴き声であり、轉りは繁殖期の求愛や縄張り宣言のための声。

・前略と書いてより先轉れり 岡田史乃 轉りを聴き分けてある鳥博士 大串章

・轉りや少女は走る三笠へ つぶやく堂やんま 轉りや良寛の寺手鞠売る 山田春生

・轉りや真白き葉書来てゐたる 浦川聡子 轉りや島の少年野球団 下川富士子

・万華鏡廻すごとくに轉れり 岡田田郎 轉りや野を絢爛と織ることし 小沢昭一

◆和歌山関連 ニュース

① 北岡理事長が和歌山県を訪問（和歌山大学での講演および連携覚書の締結）

2013年4月に設立されたわかやまJICAボランティア応援団は、このたび10周年を迎える時期となりました。応援団は、和歌山県出身のJICA海外協力隊員を支援するとともに、地域社会の国際化や活性化を目指して、帰国した海外協力隊の経験を地域社会で活かすことを目的に活動しています。同応援団と（公財）和歌山県国際交流協会が、和歌山大学と協力し、本年3月14日（月）、北岡伸一理事長による特別講演「国際協力をめぐる最近の動き～JICAの目指すもの～」を開催しました。

詳しくはコチラ https://www.jica.go.jp/kansai/topics/2021/220331_2.html

② 困難な社会を知力で開く 和大で入学式

和歌山大学（和歌山市栄谷、伊東千尋学長）の入学式が5日、同市手平の和歌山ビッグホエールで行われ、4学部生と大学院生ら計1184人が新たな一歩を踏み出した。式では伊東学長が「先が見えない激動の社会の中で、新しい視点を得られるように広く学び、知識の柱をつくることでさまざまな変化にしなやかに対応できる力を身に付けて」とエール。

▼ 詳細はこちら https://www.wakayamashimpo.co.jp/2022/04/20220406_108308.html

③ 被災地支援 和歌山大学の学生たちが補修用の瓦作り

震度6強の地震が起きた福島県の家屋の復旧を支援しようと、和歌山大学の災害ボランティアグループが段ボールと防水シートを使った一時的な補修のための瓦を作り、被災地に贈ることになりました。

この瓦は、段ボールと防水シートで簡単に作ることができ、壊れた屋根瓦の一時的な補修に使うことができます。4日は、和歌山大学の災害ボランティアグループの学生や教職員およそ10人が先月16日の震度6強の地震で被害を受けた福島県の家屋の復旧を支援しようと、瓦作りを行いました。

▼ 詳細はこちら <https://www3.nhk.or.jp/lnews/wakayama/20220404/2040011143.html>

④ 関西万博 機運醸成シンポジウム開催(4/29)

「2025年大阪・関西万博」は、国内外から約2,800万人の来場者が見込まれるビッグイベントです。関西全体で万博を盛り上げていくため、この度、万博への理解を深めるシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、万博の現況などについての講演のほか、万博PR映像も上映予定です。ぜひご参加ください。

日時:2022年4月29日(金・祝)13:30～15:15

場所:和歌山県民文化会館(※オンライン同時配信)

参加費:無料

▼ 詳細はこちら http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/file/35287_0.pdf

文・編 47期 中川貴照

柑芦会東京支部フェイスブック

<https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会

東京支部 柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日 9:00～18:00

土曜日:9:00～15:00

共用 FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。e-mail: tokyo@kourokai.org